



学校教育目標

他者とかかわりながら、自らを高める豊っ子～伝え合い 相談し 協働する～

目指す児童像

- 学校生活すべてにおいて自分の考えを持ち行動できる子
【主体性 Control】
- 自分の考え方・意見を説明できる子
【伝え合う Communication】
- 困ったときに助けを求めて相談し、一緒に取り組むことができる子
【協働 Communication】
- 失敗を恐れず、挑戦することができる子 【挑戦 Challenge】

目指す学校像

- 思いやりに溢れ、誰もが楽しいと感じられる学校
- 元気で爽やかな挨拶が響き渡る学校
- 児童・保護者・地域に信頼される学校
- 安全・安心でいつも整った美しい環境の学校

豊かな心の育成

- <重点①>認め合い助け合う
- 互いの良さを認め合い、理解しあう
 - 教師による意図的な学級内交流・班編制（学級の席順・校外学習林間学校・修学旅行の班編制etc）
 - 道徳教育の充実...人権（いじめ防止）、命の大切さ、規範意識を育てる
 - 教育相談活動の充実...教育相談週間、生活・思いやりアンケート相談箱の設置
- <重点②>友達を大切にする
- 相手の立場を理解する取り組み
 - 全教育活動をとおし、思いやりの大切さを考える場の設定
- <重点③>丁寧な言葉遣いをする
- 友達を呼び捨てにしない
 - 場に応じた言葉遣いの意識化

5つの重点項目

- 伝え合う
相談する
協働する
主体性
自己肯定感
- ・やり取りして理解し合い、深めることができる
 - ・悩み事を相手に相談できる
 - ・助けをもとめて一緒に取り組むことができる
 - ・課題に自ら取り組むことができる
 - ・自分自身を認めることができる

特色ある教育活動

- ・学年担任制（学年内教科担任制）
- ・道徳学年内持ち回り授業
- ・CSによるスマイル学習・授業支援
- ・総合・生活科：地域連携プログラム
- ・外国語学習の充実：外国との交流
- ・キャリア教育：多彩なゲストTEACHER
- ・子育て広場：命の授業
- ・ステップアップ学習会の実施

自ら考え 共に学び合う児童の育成

<重点①>自ら取り組む姿勢

- 自ら進んで行動する場の設定
- 自ら進んで助けを求めるスキルを高める取り組み
- 自己肯定感を高める取り組み

<重点②>自分の思いを伝え相手の思いを理解する

- 互いの考えを理解し、表現しあえる場の工夫
 - 全教育活動を通した言語活動の充実（コミュニケーション能力の向上）
 - 学校図書館活用による知識や豊かな心の習得
 - 全教育活動を通しての体験活動の重視（計画的な人材活用...特別授業等）
- <重点③>家庭学習をする
- 学年に応じた家庭学習の習慣化
 - 家庭との連携による学力向上及び読書活動（週末読書のすすめ）

目指す地域像

- 地域に開かれた学校づくりを進め、学校が地域の核とし機能している
- 豊小学校や地域の課題に対し、教員と学校運営協議会が一緒になって解決に当たっていく
- CS活動を通じて、次世代の豊地区構成者たちという捉え方・視点で、学校とともに子どもたちを育くんでいく

目指す教師像

- 自ら考え、進んで協働する教師
- 子どもの目線にたち、子どもが納得できる指導ができる教師
- 子ども達の些細な変化を見逃さずスピード感を持って助言・支援できる教師
- 子ども達・保護者に信頼され適切なコミュニケーションがとれる教師

健康と体力の向上

<重点①>進んで体を鍛える

- 教科体育の充実...基礎体力作り・サーキット運動
- 日常的に運動に親しむ...外遊び「ゆたかランド」「長縄」
- 家庭との連携による基本的生活習慣の確立
- 安全教育...危険予知・危険回避能力の向上、児童の安全・防災意識の高揚、落ちていた廊下歩行

<重点②>進んで働く（清掃・諸活動・奉仕作業）

- 児童が活躍できる係活動や当番活動・黙動清掃

<重点③>自分の体に対する思いやり

- 感染症対策の徹底

- 体調の変化にいち早く気づき自分で対応できる知識と技能の習得